

平成30年度長期研修者研究発表会実施要項

- 1 趣 旨 長期研修者が1年間の研究成果を発表し、今後の研究・実践に資するとともに、本県教育の充実・発展に寄与する。
- 2 主催 鹿児島県総合教育センター
- 3 期日 平成31年2月20日(水)
- 4 会場 鹿児島県総合教育センター 大原台講堂
鹿児島市宮之浦町862番地 電話(教科教育研修課) 099-294-2313
- 5 日程 9:00～9:25 受付
9:25～9:40 開会行事、日程説明等
9:40～15:20 研究発表
15:20～15:30 閉会行事
- 6 研究発表

順番	時間	学校名	氏名	教科等	研究主題
1	9:40	薩摩川内市立水引小学校	田村敏郎	道徳	児童が道徳的価値のよさを理解し、自らの成長を実感する道徳科授業の在り方 －各教科等との関連を図り、ねらいに迫るための話し合いの工夫を通して－
2	10:05	薩摩川内市立川内南中学校	川畑智子	数 学	数学的な表現力を互いに高め合う学習指導の在り方 －「説明し伝え合う活動」を通して－
	10:30	準 備			
3	10:45	さつま町立求名小学校	中村大介	プログラミング教育	筋道を立てて考える児童の育成を目指すプログラミング教育の在り方 －教科等におけるプログラミング体験を通して－
4	11:10	薩摩川内市立里小学校	西 雄一郎	特別支援教育	一斉指導において支援を必要とする児童が「分かる」、「できる」ようになる学習指導の在り方 －児童の困難さに応じた複式学級における算数科の指導過程と手立ての工夫を通して－
5	11:35	肝付町立内之浦中学校	上東 唯	国 語	社会生活につながる学びの実現を目指した国語科学習指導の在り方 －「学び合いを支える対話活動」を通して－
	12:00	休 憩			
6	13:00	日置市立妙円寺小学校	三宅徹哉	外国語活動	主体的にコミュニケーションを図る児童の育成を目指す小学校外国語科の学習指導 －CAN-DOリストやルーブリックの作成・活用を通して－
7	13:25	鹿児島市立坂元台小学校	岩下弥生	生 活	気付きの質を高める生活科学習指導の在り方 －伝え合い振り返る活動の充実を通して－
8	13:50	鹿児島市立吉野東小学校	上山崎恭平	理 科	一連の問題解決の活動を自ら行おうとする児童を育成する理科学習指導の在り方 －検証計画を発想し、他者と交流する活動を通して－
	14:15	準 備			
9	14:30	さつま町立盈進小学校	厚地隆範	学力向上	学力向上に向けた組織的・協働的な授業改善の実現を目指して －校内研究との関連を図った学力向上推進委員会の取組の工夫－
10	14:55	霧島市立国分南中学校	前畑あさよ	学力向上	じゃっど・すっど・きばっど 国分南中の新たな挑戦 －学校・家庭・地域の力を合わせた学力向上の研究－
	15:20				

上山崎 恭平 | 鹿児島市立吉野東小学校（理科）

一連の問題解決の活動を自ら行おうとする児童を育成する理科学習指導の在り方
－検証計画を発想し、他者と交流する活動を通して－

児童が問題意識を持続しながら、一連の問題解決の活動に取り組むためには、「見通し」をもつことが重要だと考え、研究してきました。そこで、児童の予想に基づいた「目的が明確になった、より妥当な検証計画」を自ら発想させるための学習過程の工夫や手立てについて発表します。

岩下 弥生 | 鹿児島市立坂元台小学校（生活）

気付きの質を高める生活科学習指導の在り方
－伝え合い振り返る活動の充実を通して－

生活科創設以来、学習指導要領改訂の度に「気付きの質を高めること」が指摘されてきました。気付きの質を高める生活科学習を具現化するために、「気付きの質を高めるのは何のためか」、「気付きの質を高めるために教師は何をすればよいか」を研究してきました。伝え合い振り返る活動の充実を中心に、指導計画の工夫や教師の言葉掛けなどについて発表します。

三宅 徹哉 | 日置市立妙円寺小学校（外国語活動）

主体的にコミュニケーションを図る児童の育成を目指す小学校外国語科の学習指導
－CAN-DOリストやルーブリックの作成・活用を通して－

児童が学ぶ意義を感じながら学習に取り組めるようにするには、教師が学習到達目標や評価基準を児童と共有したり、単元のゴールを意識した学習計画を工夫したりすることが大切だと考え、研究をしてきました。CAN-DOリストやルーブリックの作成・活用を中心に、児童がより主体的に学習に取り組むための学習指導の工夫について発表します。

田村 敏郎 薩摩川内市立水引小学校（道徳）

児童が道徳的価値のよさを理解し、自らの成長を実感する道徳科授業の在り方
－各教科等との関連を図り、ねらいに迫るための話合いの工夫を通して－

道徳的価値の大切さやよさ、更なる成長や新たな視点について考えを深め、これからの生活に新たな目標や課題をもち続けていけるような道徳科授業の在り方について研究してきました。全体計画の別葉の改善、補充・深化・統合を意図した学習活動、話合いの視覚化など、児童が自らの成長を実感できる手立てについて発表します。

西 雄一郎 薩摩川内市立里小学校（特別支援教育）

一斉指導において支援を必要とする児童が「分かる」、「できる」ようになる学習指導の在り方
－児童の困難さに応じた複式学級における算数科の指導過程と手立ての工夫を通して－

一斉指導において支援を必要とする児童が「分かる」、「できる」ようになるための学習指導の在り方について研究をしてきました。児童の学習上の困難さに応じた複式学級における算数科の指導過程のモデル及び学級全体への手立てと個に応じた手立てについて発表します。

厚地 隆範 さつま町立盈進小学校（学力向上）

学力向上に向けた組織的・協働的な授業改善の実現を目指して
－校内研究との関連を図った学力向上推進委員会の取組の工夫－

学校全体における学力向上のためには、日々の授業の充実が重要だと考え、組織的・協働的な授業改善の実現を目指した取組の研究をしてきました。学校ぐるみの授業改善を実現するためには、授業改善のサイクルを日常化することが重要です。本研究では、校内研究との関連を図った学力向上推進委員会の具体的な取組の工夫について発表します。

中村 大介 | さつま町立求名小学校 (プログラミング教育)

筋道を立てて考える児童の育成を目指すプログラミング教育の在り方
—教科等におけるプログラミング体験を通して—

教科等におけるプログラミング体験を通して、筋道を立てて考える児童の育成を目指す授業に関する研究をしてきました。プログラミング教育の目的の一つであるプログラミング的思考の育成とはどのようなことなのか、教科等でプログラミング体験を行う際の留意点は何かなどについて実践を基に発表します。

川畑 智子 | 薩摩川内市立川内南中学校 (数学)

数学的な表現力を互いに高め合う学習指導の在り方
—「説明し伝え合う活動」を通して—

生徒が数学的な表現を用いて自分の考えを表現し、それを他者との関わりを通して高め、考えることの楽しさや主体的に学ぶ喜びを実感できる数学科の授業を目指して研究してきました。数学的活動において、数学的な表現を用いて説明し伝え合える手立ての工夫や指導の在り方、見通しや振り返りの工夫について発表します。

前畑 あさよ | 霧島市立国分南中学校 (学力向上)

じゃっど・すっど・きばっど 国分南中の新たな挑戦
—学校・家庭・地域の力を合わせた学力向上の研究—

じゃっど (認め合い)・すっど (深め合い・学び合い)・きばっど (連携) をキーワードに、学校・家庭・地域が力を合わせて学力向上を目指す取組の研究をしてきました。教科等横断的な視点での共通目標、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、家庭学習と学校をつなぐ工夫、地域の素材の活用について発表します。

上東 唯 | 肝付町立内之浦中学校 (国語)

社会生活につながる学びの実現を目指した国語科学習指導の在り方
—「学び合いを支える対話活動」を通して—

国語科の学びを社会生活の具体的な場面で生かせる資質・能力にすることで、生徒が「学んでよかった」という実感をもつことができる国語科の授業を目指して研究してきました。国語科学習を通して得た学びと社会生活の具体的な場面をつなぐ指導計画の工夫、「学び合いを支える対話活動」を位置付けた学習過程の工夫や指導の在り方について発表します。